特別展

豊臣秀吉と毛利氏



毛利輝元（当館蔵「毛利元就御座備図」より）



羽柴秀吉（当館蔵「錦絵 太平記 四国征伐」より）

令和8年12月4日（金）～令和9年1月31日（日）

会期中、展示を観覧された方から抽選で 80 名様にオリジナルグッズをプレゼント！

SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

下関市立歴史博物館

〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号

TEL.083-241-1080　FAX.083-245-3310

https://www.shimohaku.jp

【開館時間】 9時30分～ 17時00分［※ 最終入館は16時30分まで］

【休 館 日】 毎週月曜日（１月11日は開館し、12日に休館）
年末年始（12月28日～１月４日）

【観 覧 料】 一般 700円［560円］、大学生等 400円［320円］
※［　］内は20名以上の団体料金
※下関市内に居住する65歳以上の方は観覧料350円（要公的証明書）
※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料（要公的証明書）

【駐車料金】 最初の2時間まで1時間ごとに100円
最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

【駐車台数】 一般26台、身障者用2台

十六世紀中期に隣国の大内氏や尼子氏を滅ぼし、西国を代表する戦国大名へと飛躍した毛利氏。北部九州の戦いが一段落すると、毛利氏の戦いの舞台は東方へと移っていきます。

中国東部をめぐる戦いで、毛利氏と衝突することになったのが織田信長であり、その重臣羽柴秀吉でした。調略を駆使する秀吉に対し、毛利氏は次第に劣勢に追い込まれますが、決戦を前に本能寺の変が勃発。信長はその生涯を終えることになります。

信長の後継者争いを制した秀吉は、関白就任や豊臣姓下賜を経て着々と天下人の地位を確立し、ついに毛利氏は秀吉への従属を決意しました。毛利氏は豊臣大名としての道を歩み出し、赤間関（下関）も新たな時代を迎えることになったのです。

本展では、豊臣秀吉と毛利氏の関係を辿りつつ、豊臣政権下における赤間関（下関）について紹介します。

秀吉の策略で味方が離反！



「小早川隆景書状」（当館蔵）

毛利氏も参戦した秀吉の四国攻め！



「錦絵 太平記 四国征伐」（当館蔵）

イベント①関連講座

【タイトル・開催日】
「豊臣大名毛利氏」　令和8年12月20日（日）・23日（水）
「豊臣政権期の下関」　令和9年1月20日（水）・24日（日）
※時間はいずれも10:30～11:30 ※各日いずれも同じ内容。
【講　師】岡松 仁（下関市立歴史博物館 学芸員）
【場　所】下関市立歴史博物館 ガイダンス交流室
【定　員】45名（要予約・先着順、連絡先083－241－1080）
※令和8年12月4日（金）9:30より
電話または博物館受付にて受付開始。
【資料代】300円
※講座の開催日・開催回数・受付開始日等については
変更となる可能性がある。

イベント②展示解説

【開催日】令和8年12月20日（日）・23日（水）、
令和9年1月20日（水）・24日（日）
※各日11:40～12:10を予定。
※講座終了後に実施するため、
開始時間が前後することがある。
【講　師】岡松 仁（下関市立歴史博物館 学芸員）
【場　所】下関市立歴史博物館 企画展示室
【料　金】特別展観覧料
【予　約】不要
※講座を聴講しなくても参加可能。



担当学芸員のオススメ！

●本能寺の変が起きたあと、毛利氏はいかにして豊臣政権に参画し、新たな道を歩み始めたか、下関初公開資料を交えつつ紹介します！

下関市立歴史博物館　学芸員　岡松　仁

交　通　の　ご　案　内

●公共交通機関
JR下関駅 ― 長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス（25分）
JR新下関駅 ― 「城下町長府」経由「マリンランド」または「下関駅」行きバス（20分）
JR長府駅 ― 「長府駅」または「長府駅前」バス停から「下関駅」行きバス（10分）
→ 城下町長府バス停 → 徒歩10分 → 下関市立歴史博物館

●自動車
下関I.C ― 「壇ノ浦」方面に進み、国道9号線経由（20分）
下関I.C ― 「長府」方面に進み、国道9号線経由（15分）
→ 下関市立歴史博物館



SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY
下関市立歴史博物館